



図書館員が選ぶおすすめの本

～高学年向け（小5,6）～



「**星空を届けたい 出張プラネタリウム、はじめました!**」
高橋真理子 // 文 早川世詩男 // 絵 ほるぷ出版



科学館のプラネタリウムで宇宙(ウチュウ)や星の魅力(ミヨク)を伝える仕事をしてきた高橋さん。様々な企画(キカク)を行う中で、目の見えない人や長期入院している子ども達にも宇宙を感じてもらいたいと思うようになり、ある行動をおこします!

「**なぜこうなった? あの絶景のひみつ**」
増田明代 // 文・構成 山口耕生 // 監修 講談社



アラスカのオーロラ、ボリビアのウニ塩湖、ハワイのダイヤモンド・ヘッドなど、世界の絶景とよばれる景色はどのように生まれたのか……。15ヶ所の絶景の不思議を解き明かします。

「**ミイラになったブタ—自然界の生きたつながり—**」
スーザン・E・クインラン // 著 ジェニファー・O・デューイ // 絵
藤田千枝 // 訳 さ・え・ら書房



森で動物の死体が見当たらないのはなぜ? 疑問に思ったある研究者が、森の中に子ブタの死がい置いて観察してみるとそれはミイラに……。表題作をはじめ、自然界で実際に起こったなぞを、生態学者が解き明かす14の物語。

「**クジラのおなかからプラスチック**」
保坂直紀 // 著 旬報社



2018年5月、タイの海岸にひん死のクジラが打ち上げられた。死後おなかの中からは大量のプラスチック袋(ブクロ)が……。レジ袋やストローなどにも使われ私たちの暮らしを便利してくれたプラスチックですが、今やごみとなって世界中に広がってしまっているのです。

「**化けて貸します! レンタルショップ八文字屋**」
泉田もと // 作 岩崎書店



江戸の町の片すみの、今でいうレンタルショップの「八文字屋(ハチモンジャ)」。実はこのお店、働いているのはタヌキたち。貸し出す品物にタヌキが化けて繁盛(ハンジョウ)しているというわけだ。そこに人の子である文吾が奉公に行くことになり……。

「**大きなたまご**」
オリバー・バターワース // 作 松岡享子 // 訳 岩波書店



アメリカの小さな町に住む12才の少年ネイト。ある日めんどりが大きな大きなたまごを産んだ。ネイトがおそろしく手がかるたまごのせわをして、やっと生まれてきたのはあの生きもので……。ひとりと1ぴきのわくわくどきどきの物語。

「**プロイスラーの昔話② 地獄の使いをよぶ呪文 悪魔と魔女の13の話**」
オトフリート・プロイスラー // 作 佐々木 田鶴子 // 訳
スズキコージ // 絵 小峰書店



悪魔と契約(ケイヤク)した「黒魔術師」として有名なファウスト博士のお話をはじめ、プロイスラーが語るドイツの昔話13話。望みをかなえるため、魔法の力を借りたくなるのは、今も昔も変わりがないようですね。

「**ジュリエッタ荘の幽霊**」

ベアトリーチェ・ソリナス・ドンギ // 作 エマヌエーラ・ブツラーティ // 絵
長野 徹 // 訳 小峰書店



第二次世界大戦のさなか、母のふるさとの村に疎開(ソカイ)してきたリツリは、「呪(ノロ)われた屋敷(ヤシキ)」と呼ばれる家で、白い服を着た見知らぬ少女を見かける。幽霊(ユウレイ)とのうわさもあったが、姿を現さないその理由を知ったリツリは……。

※対象年齢は目安です。

